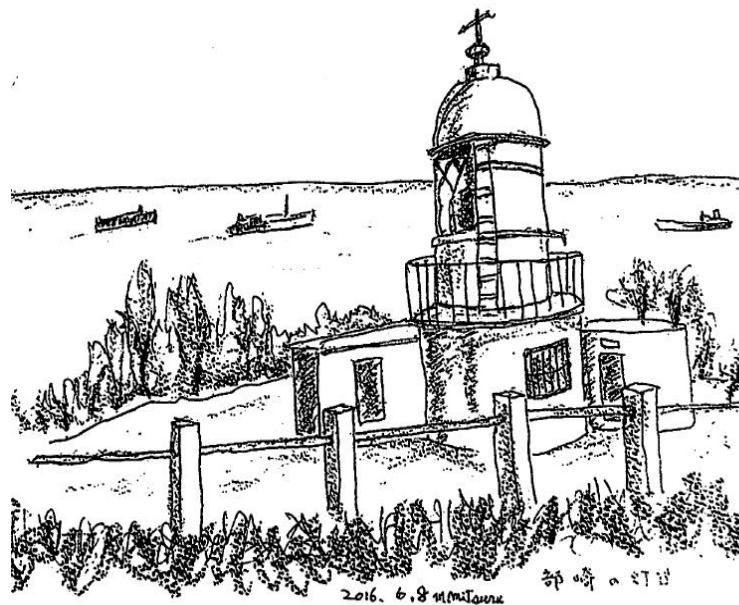


週報2021年1月24日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書43章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年1月24日

司会・奏楽・メッセージ 山崎銀次郎牧師

開会の祈り

使徒信条・標語聖句唱和

賛美「あなたの愛の力で」

今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！

お祈り

聖書朗読 使徒の働き4章23-31節

説教題「大胆な信仰」

応答の祈り

終祷「祝福の祈り」

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

使徒の働き 4章 23節-31節
「大胆な信仰」

①導入

使徒行伝の醍醐味はあらゆる壁が聖霊の力によって打ち碎かれ、福音が全世界に広げられていく事です。死の壁を打ち破る力。自我の壁が碎かれイエスキリストの証人に変えられる力。異邦人とユダヤ人の敵意の壁が打ち碎かれ一致する力。そして迫害の壁を打ち破る力です。使徒行伝のテーマは聖霊に満たされた弟子達による福音の拡大です。そして今日の聖書の箇所はそのエッセンスが凝縮されている箇所です。

②大胆に福音を伝える聖霊の力

聖霊の力によってキリストの証人としての使命を確かにしたペテロとヨハネ。彼らは足の不自由な人に対してイエスの御名を宣言し祈りました。すると自由のきかない足が癒され、主の御名をあがめる者へと変えられました。そしてその事によって、多くの人（5千人）が福音の力を信じて救われました。しかしその結果、イスラエルの指導者達に迫害されます。その後、きつぐ脅しをかけられた後、ペテロとヨハネは釈放されました。そしてその事の次第を仲間に伝えました。そこで弟子達は一つになって、聖霊の力を求めました。ここで重要なポイントは脅しを受け、抑圧された中で弟子達は聖霊の力によって大胆に神の言葉を語ったという事です。

私達は信仰生活の中で様々な壁を感じる時があります。伝道の壁、自らの自我が打ち碎かれて行かない自我の壁、長年祈っても解決の兆しが見えない問題の壁等もあります。信仰生活の中で突破口が見てこないという時があります。しかし究極的に私達に求められるのは聖霊の力を信じるか信じないかです。つまり今私達に問われている事は神に対する信頼です。問題の大小や私達の能力、経済力、計画力によって神の計画は左右されません。キリストが取られた勝利。つまり新しい神様との結

びつきを得るか得ないかの話なのです。神と人間との隔たりはイエスキリストの十字架によって打ち碎かれたのです。その生命に溢れた力が流れて行き、この共同体の力によって又新しい弟子達が生み出されました。

北九州シオン教会は緊急事態宣言を受けて、会堂で集まらずに礼拝を捧げる事を決断しました。その事によって直接会う事が出来ないので、お互いの顔や様子を見る事が出来ません。又会話によるコミュニケーションも取る事ができません。そこで段々不安になって行きます。何故なら、今までの自由がきかなくなってしまったからです。しかし私達の主にある一致は妨げられていません。神の力の推進も妨げられていません。聖霊の力を信じて祈る時、キリストによる一体感、福音の更なる前進を確信する事が出来ます。一緒に聖霊の力を信じて祈ってまいりましょう。

③ダイナミックな信仰生活

様々な理由で抑圧を感じる時、人は消極的な態度になります。使徒行伝の弟子達は脅された事によって意氣消沈し宣教活動を止めてもおかしくない状況でした。しかし彼らはまず祈りました。ただ祈るだけではなく聖霊の力を求めて祈りました。聖霊を求めて祈る事、これが私達信仰者の最大の武器です。恵の拡大の祈り、執り成しの祈り、感謝の祈り。神への信頼は向ければ向けるほどに自分自身の“恵み”になって返って来ます。

ダイナミックな信仰生活、つまり恵みに溢れた信仰生活を送る鍵は神に対する信頼を告白し続ける事です。そしてそれは人間の力ではなく、聖霊の力によって実現します。聖霊様が今求めている器は“他の誰かではなく、私を通じて神の栄光が現わされる”と信じる人です。聖霊の力を信じて前進してまいりましょう。